

職業人教育システムのイノベーション拠点形成プロジェクト

CTDM consulting

職業人教育システムのイノベーション拠点形成プロジェクト

ユニットB

①医療分野における研究

森田 晃子

2008年GSIS入学(3期生) 2010年修了
株式会社サンライトヒューマン 代表取締役
TDMコンサルティング株式会社 代表取締役

©2013 Akiko Morita

職業人教育システムのイノベーション拠点形成プロジェクト

CTDM consulting

医療教育におけるパラダイムシフト

・学校教育の延長(パタゴジー)から実践教育(アンドラゴジー)へ
日進月歩な医療分野、医療体制の変化(チーム医療)、
資格保持(継続教育)、イノベーターの出現(←GSIS関与)

IDの受け入れ態勢◎

©2013 Akiko Morita

職業人教育システムのイノベーション拠点形成プロジェクト

CTDM consulting

森田が関わっている研究

様々なIDの手法を取り入れた研究テーマ(報告書p8)

- ・ 森田:MR教育者の教授スキル
- ・ 岩永ほか:効果的な心肺蘇生講習方法
- ・ 廣庭ほか:医療従事者のパフォーマンス(職種間連携)
- ・ 都竹:保健指導者が活用できるプログラム開発
- ・ 鈴木:シミュレーション教育の開発

©2013 Akiko Morita

職業人教育システムのイノベーション拠点形成プロジェクト

CTDM consulting

医療教育におけるパラダイムシフト

・学校教育の延長(パタゴジー)から実践教育(アンドラゴジー)へ
日進月歩な医療分野、医療体制の変化(チーム医療)、
資格保持(継続教育)、イノベーターの出現(医師、看護師、製薬系)

MR: 医薬情報担当者
Medical Representatives

©2013 Akiko Morita

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計
—MR教育者が学習する「場」を考える—

熊本大学大学院
社会文化科学研究科 教授システム学専攻
森田 晃子

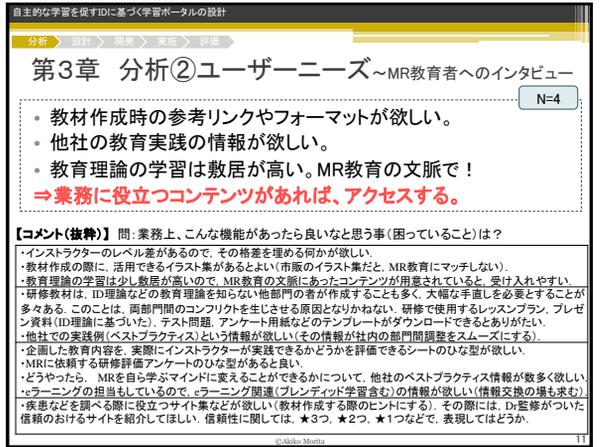
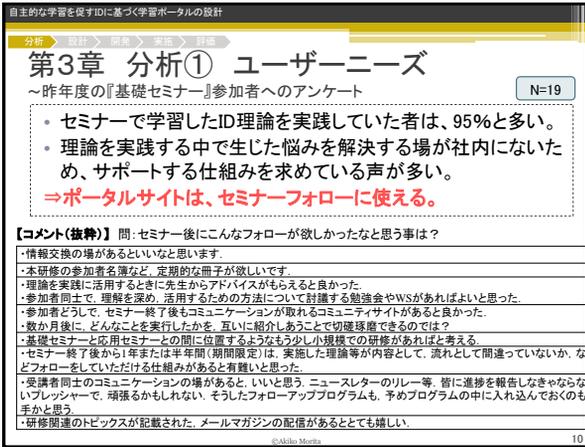
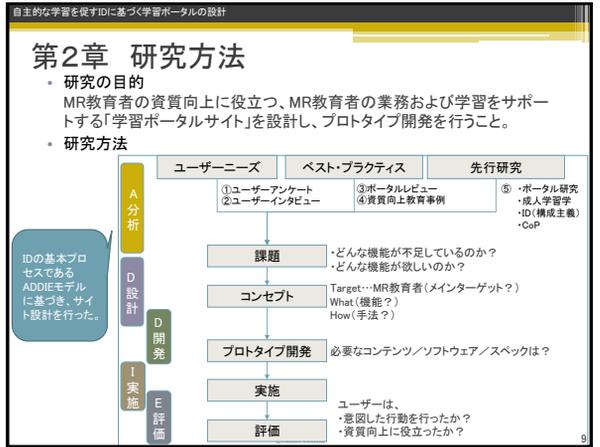
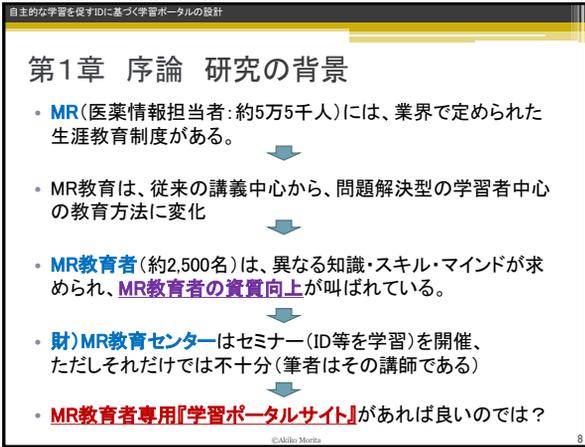
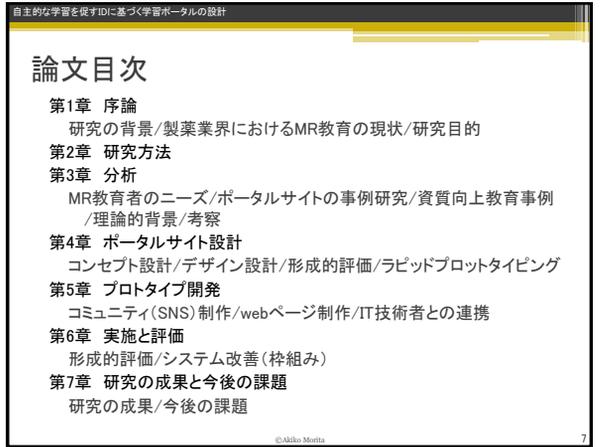
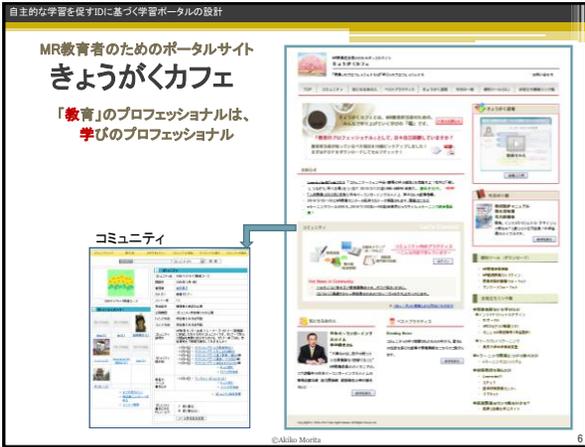
主査:根本 淳子 助教
副査:江川 良裕 准教授、鈴木 克明 教授

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計

本研究の成果

- 本研究の概要
製薬業界で求められている“MR教育者”の資質向上に貢献すべく、“MR教育者”が自主的に学習する「場」を提供するポータルサイトを設計し、プロトタイプ開発を行った。
- 成果
 1. ポータルサイト設計時の5つの着眼点を見いだしたこと。
 - ①ユーザー第一主義
 - ②業務に役立つコンテンツを充実させる(MR教育の文脈)
 - ③コミュニティの設置(運用の工夫・イベントと連動)
 - ④「省察」の場となる“問いかけ”を行う
 - ⑤あるべき姿の提示
 2. MR教育者向けのポータルサイトを開発し、形成的評価の結果から、MR教育者を含む3者のステークホルダーから評価を得たこと。

©Akiko Morita



自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計

分析 設計 開発 実装 評価

第3章 分析③ ベストプラクティス ～ポータルレビュー

機能	機能の名称	機能の概要	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
教育者ポータル機能	1) コンテンツ管理ツール	コンテンツ管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2) アドバンスド検索機能	検索機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報提供機能	3) ニュース更新機能	ニュース機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4) ブログ	ブログ機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学習支援機能	5) メールマガジン	メールマガジン機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6) 検索エンジン	検索機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
経営者視点機能	7) 売上・利益レポート	レポート機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8) 売上・利益レポート	レポート機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 自主的な社会人を育成するという観点では「ewoman」のコンセプトが、社会人の業務をサポートするという観点では「SOS総務」が、講師の教育実践を支えるという観点では「TOSSランド」の機能が有効であろう。

©Akiko Morita 12

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計

分析 設計 開発 実装 評価

第3章 分析④ ベストプラクティス ～米国ibstpi

* 米国のibstpiにおいては、インストラクターなどのコンピテンシーを提示し、必要な能力を獲得するためのプログラムや認定する仕組みが用意されている。

⇒業界としてのあるべき姿(教育者に必要な資質能力を具体的に検討する必要があるのでは?)

ibstpiのインストラクターコンピテンシー

1. 効果的なコミュニケーションを行う
2. 専門分野の知識やスキルを常に磨いておく
3. 規定の倫理や法を順守する
4. プロフェッショナルとしての信用を確立する
5. 企画と準備
6. インストラクションと方法を企画準備する
7. インストラクションに必要な具体的な準備をする
8. 方法と戦略
9. 受講者が意欲的に、集中して学べるように働きかける
10. プレゼンテーションを効果的に行う
11. アナリティクスを効果的に利用する
12. タイミングよく的確に質問する
13. 明確な目標とフィードバックを伝える
14. 学んだ知識やスキルが実際に使えるように働きかける
15. 学んだ知識やスキルが実際に使えるように働きかける
16. メディアやテクノロジーを使って学習効果を高める
17. 評価
18. 学習成果とその実用性を評価する
19. インストラクションの効果を評価する
20. マネジメント
21. 学習効率と学んだことの実践を促進する環境を維持する
22. 適切なテクノロジーを使って、インストラクションのプロセスを管理する

©Akiko Morita 13

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計

分析 設計 開発 実装 評価

第3章 分析⑤ 先行研究調査

考察: ポータルサイト設計時の着眼点のヒント

①ポータル関連

- ・情報・学習ポータルを構築する企業が増加
- ・ユーザー視点
- ・ユーザービリティの向上
- ・面倒見続けることが鍵
- ・コンテンツの中身の充実
- ・アクセス数は重要(いつでも見たいなるサイト)

②成人学習学

- ・ユーザーの関心にフォーカス
- ・ユーザーを巻き込む
- ・経験(実践情報)を語る場の設定
- ・個別化への対応

③ID(構成主義)

- ・サンプルやベストプラクティスの提示
- ・協同学習
- ・省察の場の設定(良質な問いかけ)
- ・セミナー後のフォローアップとしての活用
- ・ファシリテーションとリーダーの活用
- ・定期的なサイトの評価

④コミュニティ・オブ・プラクティス(CoP)

- ・最初から作りこみに、皆で作っていく
- ・メンバーの多様性
- ・公開情報と会員限定情報の設置
- ・「あるべき姿」を示す
- ・オンラインコミュニティと刺激的なイベントの組み合わせ

©Akiko Morita 14

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計

分析 設計 開発 実装 評価

第3章 分析結果のまとめ

* 企業ポータルの構築が盛んである企業人の学習において、MR教育者に対するメッセージを発信でき、社外の同士が情報交換でき、多忙な業務の合間をぬって効果的かつ効率的に学習するためには、「学習ポータルサイト」は有効であるとする。

* ポータルサイトを設計する際の着眼点

1. ユーザー第一主義(ユーザーを巻き込み、皆で作っていく)
2. 業務に役立つコンテンツを充実させること(アクセスのきっかけ作り)
3. コミュニケーションツールを設置すること(実際の活動との連動は必須である)
4. 「省察」の場となるような「問いかけ」を行うこと(ベストプラクティスの活用)
5. MR教育者のあるべき姿を提示すること(セルフアセスメント、CoP立ち上げ)

©Akiko Morita 15

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計

分析 設計 開発 実装 評価

第4章 ポータルサイト設計(コンセプト設計)

ユーザー第一主義

ユーザーニーズ(一部、提供側の意図)	解決策(サイトに設置する機能)
1) 研修企画、教材制作に使えるフォーマットなどを入手したい	ダウンロード機能
2) 教材作成時に参考になるサイトを紹介してほしい	リンク集
3) 研修関連の情報を効率よく(収集したい)	ニュース機能、コラム、リンク集
4) 他社のMR教育者との情報交換の場が欲しい	コミュニティ機能
5) ID理論等を意識した教育の実践事例を共有したい(他社が実施している研修のネタなどを参考にしたい)	コミュニティ機能
6) 自分の担当する業務に関連した情報を効率よく収集したい(他社が実施している研修のネタなどを参考にしたい)	コミュニティ機能
7) セミナー終了後に参加できる小規模な勉強会やオフ会を実施してほしい	イベント機能
8) 学習した理論を実践にうつす時に専門家のアドバイスを欲しい(フォローする仕組み)	コミュニティ機能(メール)
9) IDなどの教育理論を学習するコンテンツが欲しい(本で学ぶ、動画で学ぶ等学習者の好みに応じて提供出来てほしい)	動画コンテンツ、コラム
10) あるべき姿を提示したい(資質向上のために、提供側の意図)	セルフアセスメント機能、コラム(ベストプラクティスの提示)

コンセプト

社内の人事異動等で教育担当者となり、しばらく教育実践を積んでいくうちに、教育に関する悩みを抱えているMR教育者たちが、
 ①教育担当者同士または教育の専門家と交えて、テーマ別で相談や議論をすることができる。
 ②MR教育実践に役立つ情報を効率よく入手できる。
 ③教育理論などをMR教育の文脈で学習できる。
 専用ポータルサイトとする。
 また、本サイトは皆で作っていく学びの「場」を目指す。

©Akiko Morita 16

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータルサイトの設計

分析 設計 開発 実装 評価

第4章 ポータルサイト設計(デザイン設計)

* ポータルデザインを設計し、MR教育者3名に対して、インタビューを実施した。

* 分析の結果立てた仮説(コンセプト)は、ユーザーニーズにほぼ合致しており、ここで出した改善意見を反映させ、開発のフェーズに進めることとした。

【改善意見】

- ・学習するメディアは、いくつかのタイプを用意してほしい(本の紹介、動画)
- ・このサイトの活用法の説明が欲しい
- ・タイトルで、このコンセプトを訴えかける仕掛けが必要



©Akiko Morita 17

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータル設計

分析 設計 開発 実施 評価

第5章 プロトタイプ開発

- ラビッドプロトotypingに基づき、最初からあまり作りこまずに、プロトタイプを開発し、しばらく運用した後、本格的な開発に着手することにした。
- ポータルサイトは、トップページおよびコンテンツをHTMLで制作し、コミュニティ(SNS)部分については、既存システム(『3eSNS』※)を活用することとした。動画については、『3eRec II』※を活用し作成した。

※木村情報技術(株)のご協力を得た

タイトル
きょうがくカフェ



ポータルサイトトップページ (HTML) コミュニティの個人のページ (SNS)

©Akiko Morita 18

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータル設計

第5章 プロトタイプ開発(コンテンツ)

5つの着眼点	コンテンツ
1. ユーザー第一主義	全てのコンテンツに必要な要素
2. 業務に役立つコンテンツを充実させること	・便利ツール ・お役立ちリンク集 ・お知らせ
3. コミュニケーションツールを設置すること	・コミュニティ (イベント機能含む)
4. 「省察」の場となるような“問いかけ”を行うこと	・ベストプラクティス記事(気になるあの人の動画レクチャー(きょうがく道場)) ・今月の1冊(お勧めの本)
5. MR教育者のあるべき姿を提示すること	・セルフアセスメント

©Akiko Morita 19

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータル設計

分析 設計 開発 実施 評価

第6章 実施と評価

- MR教育者、ステークホルダー(営業部長)、専門家(財)MR教育センター(部長)に対して、形成的評価・インタビューを実施した。

	目的	実施方法	結果・発見
MR教育者 (教育者歴0.5年 /2名)	・コンセプト設計の仮説の検証 ・操作時の問題点の発見	・趣旨説明後、手順書に沿って課題提示、アンケート&インタビュー(2時間) ・課題は、サイトの記事閲覧、アセスメント実施後の感想やコミュニティへの書き込み等である。	・業務に役立つと、MR教育の文脈で理論が学べそう。 ・こちらが意図した“気付き”あり ・SNSを活用した事がない者への対応 ・ニックネームだと“顔”が見えず、意見投稿、回答がしづらい
営業部長 (1名)	・ステークホルダーとしての意見を伺う	・趣旨説明後、ポータルサイトを閲覧してもらい、インタビュー	・ポータルサイトが存在することは大きい。後は、各社がこれをどう活かすか ・様々なステークホルダーの目線で書かれた情報を提示し、視野を広げたほうがよい(部門間調整力必須)。
財)MR教育センター職員 (1名)	・MR教育者の資質向上策を検討している立場としての意見を伺う	・趣旨説明後、ポータルサイトを閲覧してもらい、インタビュー	・必要な情報、活動は揃っている。 ・ICTに弱い者が多いので、そこをフォローするしかけが必要(セミナーの内容を次年度改定&オファの追加) ・SNSは本名にしてはどうか?

©Akiko Morita 20

自主的な学習を促すIDに基づく学習ポータル設計

第7章 研究の成果と今後の課題

研究の成果

- ポータルサイト設計時の5つの着眼点を見いだしたこと。
①ユーザー第一主義、
②業務に役立つコンテンツを充実させる(MR教育の文脈)
③コミュニティの設置(運用の工夫・イベントと運動)
④「省察」の場となる“問いかけ”を行う、
⑤あるべき姿の提示
- MR教育者向けのポータルサイトを開発し、形成的評価の結果から、MR教育者を含む3者のステークホルダーから評価を得たこと。

今後の課題

- MR教育者の小集団評価(形成的評価)を実施し、サイト改善を行う
- コミュニティのしかけとして、イベントを実施し、運用面の検討を行う
- MR教育者に必要な資質能力の調査を行うこと(セルフアセスメント項目の見直し)
- 長期運用後の行動変容調査(登録者の上長、本人の自己評価)
- 本格運用後、アクセス数の解析

©Akiko Morita 21

職業人教育システムのイノベーション拠点形成プロジェクト

CDTM consulting

今後の研究・実践活動

GSISの「修了で身につくコンピテンシーを意識して」

- 2011年7月 熊大発ベンチャー的な・(産学連携) **TDMコンサルティング株式会社設立**
 - ・企業、病院組織への教育コンサルティング
 - ・トレーナーズ・トレーニング
 - ・人材開発系資格講座開発
 - ・eラーニング系イベントのPR
- 2011年度～ 熊大大学生涯学習公開講座 **教育デザイン・ワークショップ - ID入門編・実践編** (東京会場/大阪会場) 鈴木教授/都竹教授/森田晃子/片野俊行 約110名参加
- 2013年度10月 GSIS後科科目 『医療教育におけるeラーニング』 開講 都竹茂樹/森田晃子

©2013 Akiko Morita 22

eラーニング授業設計支援室
ランチョンセミナー Luncheon seminar

第110回 GSIS卒業生だからできること!

- GSISでの激しく、楽しい学びを振り返る**
- 卒業アルバムと寄贈品に込めた想い...修了で身につくコンピ
- リアルMTM社を作っちゃおう!?**
- 『TDMコンサルティング株式会社』、社名の由来、設立の経緯
- TDM社の経営理念(1)(2)(3)、事業目的、アドバイザー
- 私たちは人々の成長を支援することで、社会に貢献します!
- TDM社が手がける仕事をご紹介します**
- 生涯講座、コンサル、eラーニング開発案件など
- 『まなばナイト』12月22日にオープンします!**
- 企画趣旨、年間計画、第1回熊本館、熊大ナイト忘年会スペシャル

©2011 森田晃子 eラーニング推進機構eラーニング授業設計支援室
ランチョンセミナー Kumamoto University
後援シスター大学校

23

リアルMTM社を作っちゃおう！？

GSIS上の架空の会社 MTM社



GSIS卒業生(3期生)が 起業した会社 TDMコンサルティング株式会社



2011年7月14日設立
代表取締役社長 森田 晃子
取締役 片野 俊行
発起人 7名